

住宅改修が必要な理由書

(P1)

< 基本情報 >

利用者等	被保険者番号	年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年	月	日	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	被保険者氏名	過去に行った <b>住宅改修額</b> を記入。 (支給額ではないので注意)			要支援 1・2	要介護 経過的・1・2・3・4・5				
	住所	弘前市大字			前住所等 (※1)	弘前市大字 ( )				
	介護保険給付対象 の住宅改修実績	<input type="checkbox"/> あり【累計改修額 円、工事種別:手すり設置・段差解消・床材変更・扉取替・便器取替】 <input type="checkbox"/> なし								
	在宅サービスの 利用状況	<input type="checkbox"/> あり【訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護 福祉用具貸与購入】 <input type="checkbox"/> なし								

作成者等	作成日	平成 年 月 日	
	所属事業所		
	資格 (作成者が介護支援 専門員でない時)		
	氏名		
連絡先			
介護支援専門員 (※2)			

現地確認日欄を削除し、作成日のみとしました。  
改修に係る見積書は原則、理由書作成日以降としてください。

現在受けているサービスを○で囲む。

過去に行った改修住居が今回と異なる(転居リセット確認)場合、以前の住所を記載してください。あわせて、その当時の介護度(3段階リセット確認)も記載してください。

(※1)欄は、今回の改修が過去に改修した住居と異なる場合、以前の住所を記載してください。また、前回改修時(※1)に当時の介護度も記載してください。

押印や印字ではなく、**自署**してください。

介護支援専門員が所属する事業所名を記載してください。

< 総合的状況 >

利用者の身体状況	介護状況	住宅改修により、 利用者等は日常生活 をどう変えたいか	過去に行った住宅改修内容を○で囲む。	<b>その他の事項</b> ①主に玄関に設置するスロープや踏み台が <b>固定されていないケース</b> が見受けられるので、注意してください。 ②改修箇所は全て撮影してください。(特に床材変更時の床部分やレール交換時のレール部分) ③住宅改修と同時に福祉用具も充分検討してください。 ④利用者や家族の意向を尊重するだけでなく、かつ、現在の身体機能レベルのみにこだわらず、 <b>将来の可能性を含めて</b> 種々のケースについて幅広い情報を提供し、よりよい改修が実施出来るように努めてください。 ⑤改修状況や利用状況を見に行く際は、利用者との日取り調整等依頼しますので、よろしくお願いします。 ⑥介護認定の申請中は事前審査は受付ますが、 <b>改修費支給申請は出来ません</b> ので、ご注意ください。	福祉用具の現状の利用状況と 住宅改修後の想定		
					改修前	改修後	
					●車いす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●特殊寝台	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●体位変換器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●手すり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●スロープ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●補助つえ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●老人徘徊感知機器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●リフト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●腰掛便座	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					●特殊尿器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
●入浴補助用具	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
●簡易浴槽	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
●その他							
・	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

改修前後における福祉用具の利用状況や利用予定をチェックしてください。

## 住宅改修が必要な理由書

＜P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記述してください＞

活動	① 改善しようとしている生活動作	② ①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	④ 改修項目(改修箇所)
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 便器からの立ち座り(移乗を含む) <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他( )	<p>生活動作で困っている事、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。</p> <p>・改修案の検討の際は、全ての行為についてチェックが必要だが、理由書では改善しようとする行為に限定したコメントで良い。</p> <p>・生活のどの場面、どの動作が利用者や介助者にとって大変なのか、動作の流れに沿って一つずつ見極める事。寝たきりならば「座位が保てるか」、歩行が出来れば「段差を超えられるか」等についても記述する。</p> <p>・①の評価と②のコメントの両方を併せ、利用者の状況が伝わるようにする。</p> <p>・移動について各行為(排泄・入浴・外出)に共通する内容は、例えば「排泄」の欄のみに記述し、各行為の欄に重複して記述する必要はない。</p>	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転落等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 手すり取り付け ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
入浴	<input type="checkbox"/> 浴槽までの移動 <input type="checkbox"/> 衣類の着脱 <input type="checkbox"/> 浴槽(便器)への入浴 <input type="checkbox"/> 浴槽(便器)からの立ち上り(移乗を含む) <input type="checkbox"/> 洗髪 <input type="checkbox"/> 浴槽(便器)からの立ち下り(移乗を含む) <input type="checkbox"/> 浴槽(便器)からの移動 <input type="checkbox"/> その他( )	<p>現状の改善を必要とする動作についてチェックをする。今回改修の対象でない項目にはチェックする必要はない。</p>	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転落等の防止、安全の確保	<input type="checkbox"/> 手すり ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの屋内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他( )	<p>・改修方法「手すり設置」や「段差解消」という表現でなくても良い。「捕まれる所を」「つまずかない工夫を」「立ち上がりの支えを」等の表現でも良い。</p>	<input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 手すり ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
その他の活動			<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転落等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 手すり ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

施工箇所が複数ある場合は、**番号等を付けて平面図や写真と対照しやすくしてください。**

取り付け場所を簡潔に記載してください。手すり設置に係る欄ですので、「～へ手すりを取り付ける」等の表記は不要です。

様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目をチェックし、詳細な内容を記述する。改修箇所は、場所だけでなく「手すり」なら、「便器横壁面」等その取り付け箇所まで記述する。

具体的には手すり取り付け時の下地補強、浴室の床段差解消時の給排水設備工事、扉の取替時の壁や柱の改修工事、便器取替時の給排水設備工事や床材の変更、等が考えられます。

レール交換やドアノブ交換を記載しているケースが多く見られます。レール交換は「段差の解消」欄に、ドアノブ交換は「引き戸等への扉の取替え」欄に記載してください。